

# 小須戸商工会令和4年度上期景況調査報告書

組織番号	21
商工会名	小須戸商工会
報告者名	涌井 有紀子

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 小須戸商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 29 事業所)  
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 29 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 令和4年1月～令和4年6月  
(調査時点 令和4年9月1日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	5	16.7%	5	16.7%
建設業	5	16.7%	5	16.7%
卸・小売業	10	33.3%	12	40.0%
サービス業	10	33.3%	8	26.7%
合計	30	100.0%	30	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

### 地区内景況のコメントする

新型コロナウイルス感染症が流行してから約3年が経過しているが、感染症による顧客や売上の減少は一部の業種に限定されてきた印象がある。ところが、ウクライナ紛争をはじめ、世界情勢の不安定に伴い、経済市場の混乱による円安に歯止めがかからず、エネルギーや食料などあらゆるものの価格が高騰しており、すべての業種において影響を受けている。

### 【後継者の状況】

#### 後継者状況をコメントする

後継者が不在の事業所が多数を占めるが、最近では飲食業を中心に事業承継に関心を持ち、事業承継支援センターと連携し、人材探し・育成に着手し始めた事業所がみられるようになった。

後継者 あり	5事業所	16.7%
後継者 なし	25事業所	83.3%

### 【売上高】

#### 地区内事業者の売上に関するコメントする

原材料の価格高騰が大きな影響を及ぼし、価格改定を行った事業所が多く見受けられたが、顧客の買い控えや価格の安い量販店へ買い求めるなどの顧客離れを引き起こすことにもつながり、しばらく回復は難しい見通しである。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
4	6	20

#### 前期比

増加	不変	減少
4	6	20

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
3	18	9

### 【採算】

#### 地区内事業者の採算性についてコメントする

売上額の減少に反して仕入価格が高騰しているため、必然的に収益は減少し、採算は悪化している。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
3	7	20

#### 前期比

好転	不変	悪化
4	7	19

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
2	17	11

### 【仕入単価】

#### 地区内事業者の仕入状況をコメントする

ほとんどの業種が仕入価格の高騰に直面している。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
16	14	0

#### 前期比

上昇	不変	低下
20	10	0

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
16	14	0

### 【販売（客）単価】

地区内事業者の客単価等をコメントする

仕入価格の上昇に伴い、販売価格に転嫁した結果、顧客の買い控えや購入数の減少を招いた事業所が一部みられるが、半数以上は販売単価の変化はみられない。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
6	16	8

#### 前期比

上昇	不変	低下
5	17	8

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
3	22	5

### 【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする。

半数以上の事業所が資金繰りについては「不変」と回答する一方で、「悪化」と回答した事業所が3分の1程度おり、景気の悪化を裏付けるものとなった。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
0	21	9

#### 前期比

好転	不変	悪化
0	19	11

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
0	25	5

### 【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする

厳しい経営環境におかれる中ではあるが、雇用には現時点では大きな影響はない。ただし、雇用を検討している事業所の中には景気回復の兆しがみえたところで、雇用を積極的に行いたいとするところもある。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
0	29	1

#### 前期比

増加	不変	減少
1	28	1

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
0	29	1

### 【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする

コロナ禍になってから、景気の悪化がだいぶ続いたため、下げ止まり感があったが、ここに来て、原材料の価格高騰がさらに追い打ちをかける形となり、今後はもう少し景気の悪化が予想される。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
3	11	16

#### 前期比

好転	不変	悪化
3	13	14

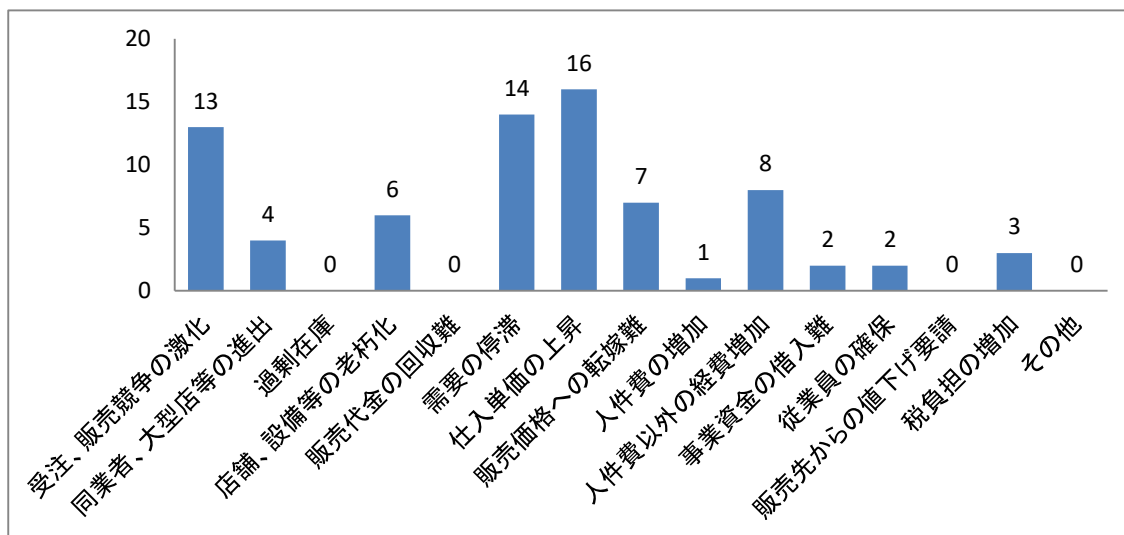
#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
2	19	9

### 【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする

コロナウイルスの感染拡大がきっかけとなり、世の中の流通や販売方法・提供に大きな変化があったが、小規模事業者の中にはそこに対応しきれないまま今に至っている事業所もあり、しばらく立ち直れず地域経済が停滞している。今後の経営課題として、販路開拓を掲げている事業所もやや見受けられる。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

地区内製造業に係る景況状況をコメントする

小須戸地域の金属加工業については、これまでコロナ禍の影響を受けているところは少なかったが、ここに来て、原材料の価格高騰が影響し受注量の減少を招いている。借入金がある事業所は返済計画の見直しや資金調達を再考することが求められる。

#### (2) 建設業

地区内建設業に係る景況状況をコメントする

木材など、材料が入れば、受注はあるため仕事は円滑である。しかし、大工仕事に関しては、大工一人で受注工事が完結しないため、仕事を外注することが多い。そのため、大工の利益率は低くなるが、材料は高額のため、資金調達の面からの借入をしていることが多い。資金繰りが厳しく感じられる。

#### (3) 卸・小売業

地区内卸、小売業に係る景況状況をコメントする

酒販店に関しては飲食店の景気に連動するため、なかなか調子を取り戻せないでいる。さらに今まで、量販店に卸さなかった商品を蔵元が卸すようになったものもあり、一部商品の値崩れやブランド力の低下を招くこととなった。すべての卸・小売業に共通していることは、量販店との差別化を図ることができるかが今後の鍵である。

#### (4) サービス業

地区内サービス業等に係る景況状況をコメントする

飲食店においては、コロナ禍を乗り越えたところに原材料の価格高騰が当たり、大ダメージである。感染者数が落ち着いた頃には少しずつ客足が戻っていたが、完全には戻り切れていない。令和4年春に一度価格改定したお店が多く、しばらく価格転嫁ができない状態が続く見通しである。理美容関係においてもパーマ液などの仕入価格が上昇し、中には料金改定を行ったお店もある。サービス業全体として、動きが停滞している。

